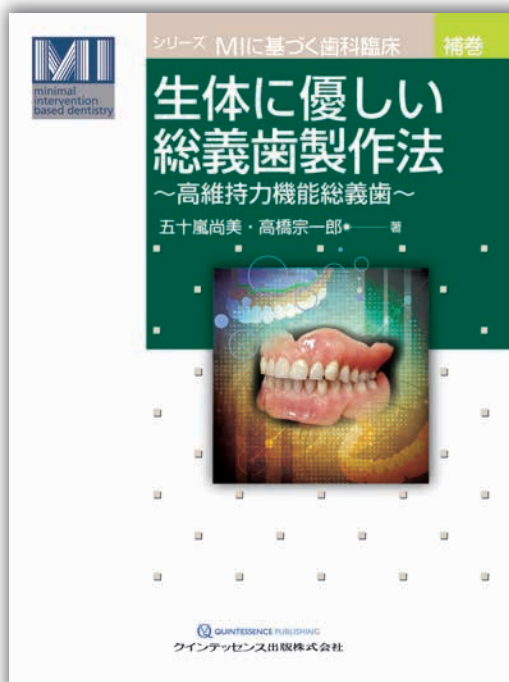


生体に優しい 総義歯製作法

～高維持力機能総義歯～

五十嵐尚美・高橋宗一郎◎——著

吸着することは大切だが、 吸着しすぎる義歯は生体に為害性がある。



総義歯製作は、まず診査・診断を基に治療計画立案を行い、その後製作過程においても必要に応じ診査・診断、再治療計画を行うプロセスが大切である。

「装着違和感がなく外れやすすくない、咀嚼能率が良く、審美・発音に優れ長期装着可能な総義歯」を製作することは、口腔の健康のみならず、全身の健康にも寄与できると確信している。そのための維持や機能を取り込み患者固有の総義歯を製作することが重要である。

Q

高維持力機能総義歯とは、何でしょうか？
特徴を教えてください。

「Q&A」
より

A

食事をしていない時には義歯を入れていない錯覚を起こすような装着感でふわり付着していますが、食事中には、しっかり維持力を発揮して咀嚼能率を向上させる総義歯です。

歯のある家族と一緒に、同じものを同じ時間で食べることができます。機能的な研磨面形態を再現することで、細かなゴマやイチゴの種などが義歯粘膜面に入らず食渣が頬側に溜まることもありません。

加えて審美・発音の満足度も高く義歯床下組織にかかる咀嚼力も均等なため、歯槽骨の吸収も緩慢になり長期使用が可能です。完成総義歯の調整が少ないのも特徴です。





月星光博先生ご推薦!

「早速、私のセミナーで高維持力機能総義歯のコースを開始した。実際に患者さんに来ていただき、(中略)最終日に受講生の前で、出来上がった義歯でリンゴやせんべいなどを食べていただいている。もう感動的である。このノウハウが余すところなく詰まったのが本書である。読まない手はない」

(「推薦のことば」より)



CONTENTS

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| CHAPTER 1 概論 | CHAPTER 6 規格模型の製作と診断と咬合床製作 |
| CHAPTER 2 印象採得に必要な解剖学 | CHAPTER 7 咬合採得 |
| CHAPTER 3 総義歯の維持力 | CHAPTER 8 人工歯排列 |
| CHAPTER 4 診査・診断, 前処置 | CHAPTER 9 レジン成型・総義歯完成・調整 |
| CHAPTER 5 印象採得 | CHAPTER 10 治療用義歯 |

きりとり線

注文書

シリーズ MIに基づく歯科臨床 補巻 生体に優しい総義歯製作法 高維持力機能総義歯

モリタ商品コード:208040116

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
 ※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。